平成 25 年 3 月 25 日

漢籍知識庫の構築と国際共同運用への試み　報告書
センター機関推進プロジェクト

責任者　小寺　敦

平成２４年度は、申請計画に沿って行われ、成果は下記の通り。

１）『碧巖録（一夜本)』画像デジタルアーカイブス
　○標題原本の画像全影公開（所内）完了。
　○解説文等については班研究「中国禅宗語録の研究」メンバーによる提供を予定していたが、検討の結果、原本の作成時期および影印の正確さから著作物としての権利は存在しえないとしても、なお何らかの権利問題が生じうるとの慎重な意見が出され、見送られた。

２）倉石武四郎博士講義ノートデジタルアーカイブス
　○約 5370 頁の全画像公開完了。（蔵書印入）
　○全文検索機能付き画像公開サイト作成
　　http://kuraishi.ioc.u-tokyo.ac.jp/

　○全３９タイトルのうち、３６タイトル分の画像・９タイトルのテキスト全文公開。
　760,516 字（約（暫定的）1900 頁）
　○原本の保存のため、中性紙の箱などに整理して収納。

３）「四庫全書綜目提要」の内容を漢籍目録データベースに拡張機能として加える件
　○綜目提要の入力は完了。

４）中国国家図書館と漢籍に関する共同研究、台湾国家図書館との国際共同漢籍目録データベース
　〇昨年度までに、中国国家図書館と、相互対等の条件で協力協定を結び、
　その第一弾として東文研の善本画像データを国家図書館に提供し、
　国家図書館のサーバで公開したが、今年度は進捗なし。

５）東洋文化研究所所蔵漢籍　電子画像作成（カラー撮影）
　○『說文解字十五卷　同治十一年武昌崇文書局重刊本』（倉石：10425）【貴重】
　この資料には非常に多くの書き込みがあるが、現在公開されている善本画像では、
　元となったマイクロの画質の問題から書き込みが判読できない。また大変痛みが激しいため、
　急遽再撮影を行い、書き込みを判読可能な高画質な画像の提供と保存を兼ねた。
　これにより、閲覧者は原本に当たる必要が基本的になくなった。